

第39期中間

# 株主通信

2016年10月1日～2017年3月31日

株式会社 夢真ホールディングス



YumeShin

トップメッセージ 02

**専門性の高い分野へ  
高付加価値の人材を提供**

**特集 人材開発部 座談会 03**

上半期の事業の概況と下半期の見通しについて 05

トピックス 06

**夢エデュケーションが  
子供向けプログラミング講座を開催 ほか**

財務ハイライト 07

連結財務諸表(要旨) 08

株式の状況 09

会社の概要 / IR伝言板 10

# 人と人とのめぐり合いでみんなの夢を真にする会社



夢真ホールディングス  
イメージキャラクター ゆめのこ

当社の社名「夢真」には、読んで字のごとく、「夢を真（まこと）にする」という意味が込められています。人と人とは他人に思えても必ずどこかで繋がっています。人と人がめぐり合うことで道は開け、可能性は無限に広がっていきます。当社は、株主さま、お客さま、従業員、そして夢真グループにかかわるすべてのの方々の可能性を追求し、その夢を真にすることをミッションと考えています。

## 株主さまとともに

透明性のある企業経営を実践し、健全な成長・安定した還元に努めます。

## 従業員とともに

独自の研修プログラムで、ひとりひとりの成長を援助します。

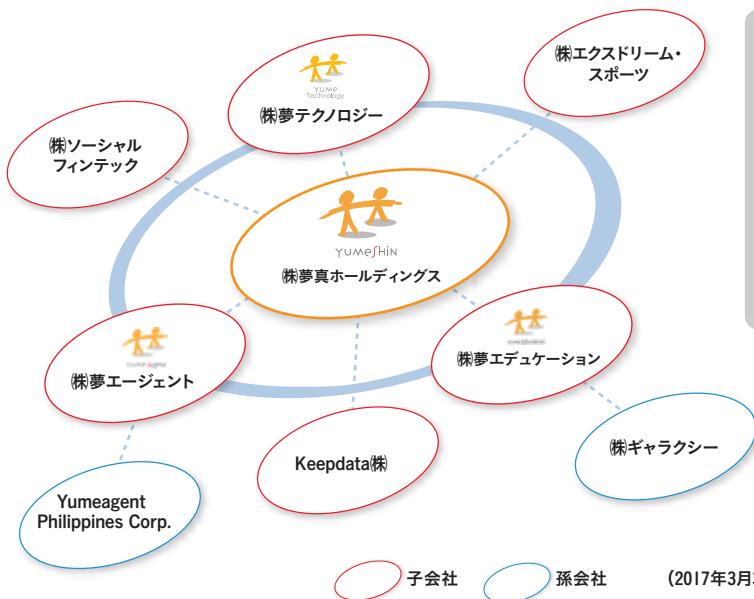
## お客さまとともに

必要な時に・必要な人数・必要な場所に・必要なスキルを持った人材を提供します。

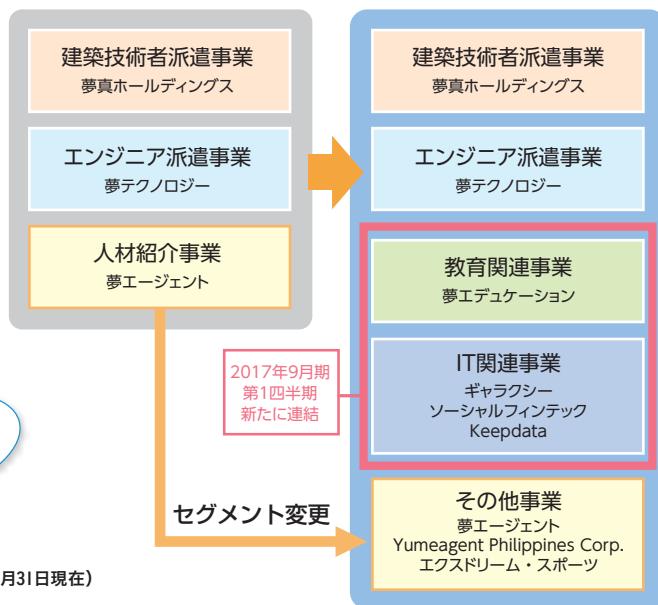
## 社会とともに

新卒・若手の人材を積極的に採用し雇用の創造に努めます。

## 夢真ホールディングスグループ



## 事業ポートフォリオの再編



## 専門性の高い分野へ 高付加価値の人材を提供し、 社会とともに成長してまいります



第39期第2四半期累計期間（2016年10月1日から2017年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社グループの中核事業である建築技術者派遣事業におきましては、ゼネコン各社が抱える技術者の「高齢化」、「若手不足」の影響により、派遣需要は活況を呈しています。また、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック関連工事及びリニア中央新幹線関連工事などが徐々に本格化する中、採用活動に注力してまいりました。

一方、近年、ITの高度化が進展し、かつてないほどにIT製品やシステム及びサービスが充実し、多様なツールが提供されています。また、ビットコインなどに代表されるフィンテック技術や拡張現実（AR）、バーチャルリアリティ（VR）、Internet of Things（IoT）などの先端的IT技術が急速に普及しつつあり、その必要とされる技術は複雑さを増しています。

当社グループがさらに成長していくためには、技術者数を増やしていくと同時に、高付加価値な人材を提供していくことが重要だと考えています。このため、第3四半期以降も積極的な採用活動を継続していくとともに、採用後の人材育成にも注力し、研修内容の充実など人材育成環境の整備も行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年5月

代表取締役社長

佐藤 大央

今回は、未経験で入社する若い人たちがやりがいをもって働けるよう日々取り組んでいる、人材開発本部人材開発部の3名にお集まりいただき、夢真ホールディングスでのさまざまなフォロー施策についてお聞きしました。

#### Q. まず、人材開発部の業務についてお聞かせください。



人材開発本部 人材開発部  
次長

永留 雄一

**永留** 人材開発部は人材の採用と育成の両方を行うセクションで、採用部門と管理部門に分かれています。その中で私たち3人は人材の管理を担っており、技術者への研修やサポート、社内イベントの企画や運営などを行っております。

**志村** 私は主に研修を担当しています。入社後、1カ月間におよぶ入社研修のなかで、新入社員の方々にはまず、同期どうして太い横のつながりを形成してもらえるよう、チームビルディングを行っています。今後の技術者生活の中で、切磋琢磨できる同期の存在は大きいので特に力を入れています。そこから、本格的に建築関係の基礎知識を学んでもらいます。主に、施工管理の知識を深めることを目的に、施工管理者や所長の役割、設計などを基礎から学びます。

このような「施工管理研修」と平行して、「ヒューマンスキル研修」という、主に円滑な人間関係を構築するための研修を行います。建築現場にはなかなか気難しい職人の方や、かなり年長の方もいらっしゃいます。ヒューマンスキル研修では、相手の立場を考え、良好なコミュニケーションを図れるよう、徹底的に学んでいただきます。

**財津** 私が所属しているのは、研修を終えて実際に現場に派遣されている技術者をサポートする「安全パトロール隊」です。派遣先の方とどのようにコミュニケーションを図っているか、プライベートのことで何か困っていることはないかなど、技術者の方々の不安を解決へ向けて支援するのが、私たち「安全パトロール隊」の役目です。実際に派遣されるとなかなか本社に来る機会がなくなってしまうので、帰属意識を維持してもらうた

めにも定期的に「業務報告会」を開催し、本社に来てもらっています。これは、入社から半年後、そして1年後の目標を立ててもらい、キャリアビジョンを明確にしてもらうとともに、いろいろと近況をお話してもらう内容となっています。また、最近では「LINE」アプリなども活用して、すぐに連絡が取れる環境を整え、不安を早期に解消し、技術者が生き生きと働き続けられるよう気を配っています。

#### Q. 入社後、継続的に行われる研修やフォロー施策についてお聞かせください。

**永留** 入社研修以降のさまざまなフォロー施策の中でも、中核をなすものとして「リーダー会」というものがあります。5年生から10年生ぐらいの方が「リーダー」となって、今後、技術者として大きく成長していきたいと考えている若手技術者に知識と技術を身につけてもらうための会であり、建築士や測量の勉強、工事写真の撮り方のポイントなど、毎回テーマを決めて勉強しています。やはり、そこでも大切にしているのは、人と人とのつながりです。業務上のSOSをしっかりキャッチしたり、私生活のことでアドバイスできるような、良好な関係を築けるよう心がけています。

**志村** また、最近では施工管理の資格取得研修として、1年以上の経験者へ向けた、年4回の「ステップアップ研修」も行っています。この研修では、何十年と施工管理に携わってきた経験豊富なベテラン技術者の面々が講師となり、高度な専門知識を教えています。さまざまな分野の講師陣を招いて、幅広く、そして深い知識を身につけられるような学びの場となっています。

**永留** このステップアップ研修は非常に好評で、お客様であるゼネコン各社からも社員に受けさせたいという声が集まるほどです。

**志村** 同期どうしが集まる「同窓会」も非常にいい効果を生んでいます。現場に出てしまうと同期でも定期的集まる機会



人材開発本部 人材開発部  
研修担当

志村 秀夫

が少ないので、本社に集まりお寿司やピザを食べながら歓談し、情報交換してもらうイベントを開催しています。派遣先と家の往復になってしまうと、どうしても会社への帰属意識が薄れてしまうことから、本社に来てさまざまな人と触れ合うことで、その気持ちを強化する効果があります。

**永留** 「業務報告会」、「スキルアップ研修」、「リーダー会」、「同窓会」とさまざまなイベントを行っておりますが、今後もより濃い内容にして、全技術者、そしてお客様の要望に応じていきたいと思っています。また、会社という母体が大きくなればなるほど多人数での研修が中心になっていきますが、技術者のやる気を引き出すためにも、しっかり「個」に目を向けた研修を行っていくことが必要であると考えています。

#### Q.現在在籍している3,800名以上の技術者のうち、女性が800名ほどを占めていますが、フォローするうえで男女の違いはありますか。

**財津** 最近は建築現場にも女性が増えてきており、女性が働きやすいような環境整備が進んでいます。もともと女性特有のきめ細かさは施工管理に向いていると感じています。ただ、女性は男性に比べて、気持ちを内側にためこみやすい傾向が強く、誰にでも相談するわけではなく、相談する相手も選ぶので、話しやすいように入社研修の時点で早期に良好な関係を築けるよう心がけています。



人材開発本部 人材開発部  
「安全パトロール隊」  
財津 麻子

#### Q.すでに定着率74%を超えていますが、どのような取り組みが定着率向上に奏功しているのでしょうか。

**永留** ひとつには、今までお話しした各種研修や安全パトロール部隊のサポートにより、技術者がつまづかないで成長していることが要因だと思います。そうした個々の成長が自信にも結びつき、結果として定着率の向上につながっていると感じています。



もうひとつ、現在、技術者と派遣先の「マッチング」に非常に力を入れています。残業をたくさんして稼ぎたいという人がいる一方、定時で仕事を終えプライベートにあてたいという人もおり、働き方のニーズは十人十色です。技術者の望む働き方とお客様が望む人材とのマッチングは非常に重要です。

また、営業員の建築知識向上のための研修にも力を入れています。技術者に派遣先で行う業務の内容をしっかりと説明できるようにし、それによって技術者も納得して派遣先を決めることができます。人は、自分で決めたことはギブアップせず最後までやりきりますから、その派遣先での業務をしっかりと務め上げてくれます。そうすることでお客様の満足度も向上し、良い連鎖が生まれます。

さらに今、技術者のキャリアアップへの意思、将来のライフプランなど、さまざまな声を集めて、そのデータ管理を進めています。ひとつの現場を終えると「技術成績表」を作成し、フィードバックしています。あわせて次の派遣先への要望や、今回の現場で不満に思ったことなどのコメントをもらい、技術者の成長とマッチング精度の向上を日々目指しています。

#### Q.最後に株主の皆様メッセージをお願いします。

**永留** 今後とも良いアイデアを柔軟に取り入れることで、技術者の成長を支援するとともに、建築業界の発展に貢献できるよう努めてまいります。株主の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

# 上半期の事業の概況と下半期の見通しについて

## ハイライト

- 連結売上高 前年同期比30%増収 27四半期連続で前年比より増加
- 建築技術者派遣事業 派遣単価の改善が進み営業利益が前年同期比37%増益に
- 建築技術者派遣事業 定着率74%と前年同期68%から6ポイントの大幅改善

## 事業の概況

連結 (百万円)

	2016年9月期 第2四半期累計	2017年9月期 第2四半期累計	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	11,195	14,517	+3,321	29.7%
営業利益	1,211	1,290	+78	6.5%
経常利益	1,238	1,368	+130	10.5%
当期純利益	831	822	△ 8	△ 1.0%

## 建築技術者派遣事業

(百万円)

	2016年9月期 第2四半期累計	2017年9月期 第2四半期累計	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	8,425	10,901	+2,476	29.4%
営業利益	1,068	1,460	+391	36.6%
期末技術者数	2,943 人	3,865 人	+922 人	31.3%
期中平均技術者数	2,909 人	3,643 人	+734 人	25.2%

定着率が2013年6月以来の74%超となり稼働人数が増加したことに加え、派遣単価の上昇で建築技術者派遣事業が29%増収、エンジニア派遣事業でもエンジニア数の増加により24%の増収となりました。その結果、連結売上高では30%増収の14,517百万円となりました。

建築技術者派遣事業にて派遣単価が上昇、その結果、売上総利益率が31%となり前年同期比0.3ポイント改善、販管費増加をこなし営業利益が37%増益となりました。連結営業利益では、教育およびIT 関連事業が先行投資期間のため△245百万円となったことから、7%の増益と増益率は限定的となりました。

## 下半期の見通し

建築技術者派遣事業では、派遣単価と3年半ぶりに74%超となった定着率の好調は下半期も継続いたします。エンジニア派遣事業では、積極採用によるエンジニア増で増収継続も採用費先行となる見込みです。教育およびIT関連事業では引き続き投資期間となりますが、業績が好転する関連会社も現れ営業損失は縮小となる見込みです。

## ■ 建築技術者派遣事業の利益の推移



## グループ会社夢エデュケーションが子供向けプログラミング講座を開催

教育事業を行っている株式会社夢エデュケーションでは、2017年8月に予定している子供向けプログラミングスクール「Kids Yume Campus」のオープンに先駆け、最先端のSTEM教育\*であるヒューマノイドロボットのプログラミング講座を「春休み親子体験会」と称し、開催いたしました。

当日は小学生から高校生まで幅広い年代のお子様にご多数ご参加いただきました。自分で考えたプログラミングどおりにヒューマノイドロボット「NAO(ナオ)」が動いたり喋ったりすると会場内に歓声が響き渡り、子供たちのキラキラと輝く眼がとて印象的でした。

夢エデュケーションでは、今後も子供たちと明るい未来をつなぐ懸け橋となるべく、多彩な教育カリキュラムを提供してまいります。

※STEMとは、「Science(科学)」「Technology(技術)」「Engineering(工学)」「Mathematics(数学)」のそれぞれ頭文字をとったもの。STEM教育は、科学と数学を土台とした理数系理解の強化を図り、社会で求められているICT技術に長けた人材を育てることを目的としています。



## 「JPX 日経中小型株指数」の構成銘柄へ選定されました

当社は、東京証券取引所及び日本経済新聞社が共同で算出・配信を行う「JPX 日経中小型株指数」の構成銘柄に選定されました。

本指数は、JPX 日経インデックス400で導入した「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とするというコンセプトを中小型株に適用することで、資本の効率的活用や投資者を意識した経営を行っている企業を選定するもので、2017年3月13日より新たに算出が開始されました。

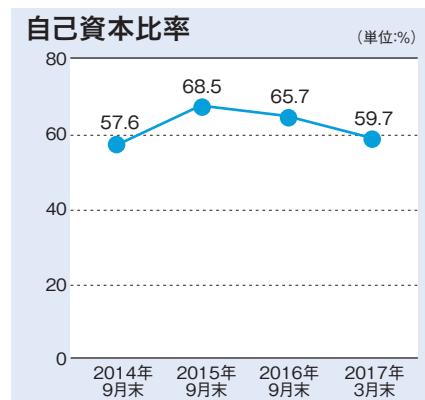
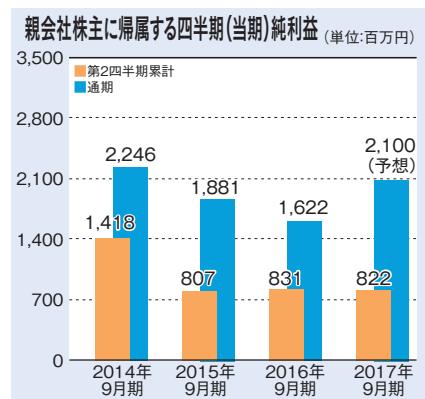
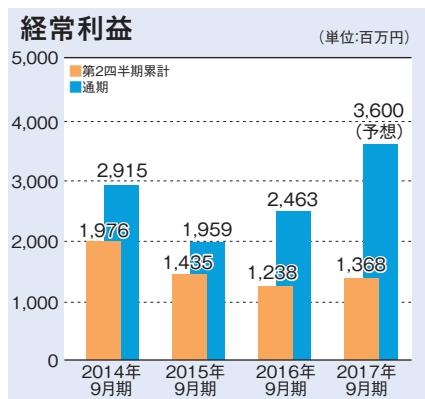
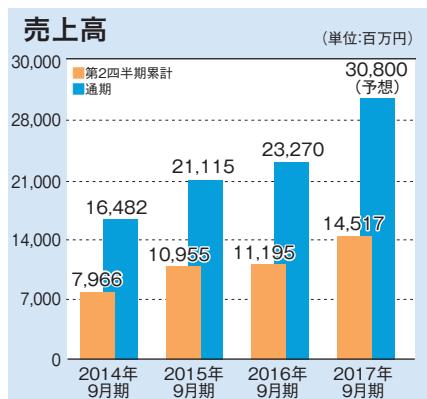
## 優良派遣事業者として認定されました

2017年3月31日、厚生労働省が委託管理・運営を行っている「優良派遣事業者認定制度」にて、当社はその審査認定機関より優良派遣事業者として認定されました。

法令を遵守しているだけでなく、派遣社員のキャリア形成支援やより良い労働環境の確保など派遣社員と派遣先の双方に安心できるサービスを提供できているかについて一定の基準を満たした派遣事業者が「優良派遣事業者」として認定されます。



# 財務ハイライト



ポイント解説

## 売上高

売上高は、技術者の増員に起因した建築技術者派遣事業及びエンジニア派遣事業の伸張により前年同期比3,321百万円(29.7%)増加の14,517百万円となりました。

## 営業利益・経常利益・四半期純利益

営業利益は、建築技術者派遣事業において派遣単価の改善が順調に進み、36.6%の増益となりましたが、教育関連事業及びIT関連事業での先行投資により、前年同期比78百万円(6.5%)増加の1,290百万円となりました。経常利益は営業利益の増加により前年同期比130百万円(10.5%)増加の1,368百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比8百万円(1.0%)減少の822百万円となりました。

## 連結貸借対照表

(単位:千円)

区 分	当第2四半期 2017年3月31日現在	前 期 2016年9月30日現在
<b>[資産の部]</b>		
流動資産	<b>13,723,166</b>	<b>13,333,695</b>
固定資産	<b>7,029,436</b>	<b>5,766,412</b>
有形固定資産	1,478,188	1,352,637
無形固定資産	1,361,463	1,220,720
投資その他の資産	4,189,783	3,193,053
繰延資産	<b>43,651</b>	<b>17,706</b>
資産合計	<b>20,796,254</b>	<b>19,117,814</b>
<b>[負債の部]</b>		
流動負債	<b>5,376,394</b>	<b>3,551,500</b>
固定負債	<b>1,768,044</b>	<b>2,054,731</b>
負債合計	<b>7,144,438</b>	<b>5,606,231</b>
<b>[純資産の部]</b>		
株主資本	<b>12,330,863</b>	<b>12,674,521</b>
その他の包括利益累計額	<b>91,330</b>	<b>△ 105,220</b>
新株予約権	<b>73,771</b>	<b>95,721</b>
非支配株主持分	<b>1,155,850</b>	<b>846,559</b>
純資産合計	<b>13,651,815</b>	<b>13,511,582</b>
負債純資産合計	<b>20,796,254</b>	<b>19,117,814</b>

## 連結損益計算書

(単位:千円)

区 分	当第2四半期累計 自 2016年10月 1日 至 2017年 3月31日	前第2四半期累計 自 2015年10月 1日 至 2016年 3月31日
売上高	<b>14,517,359</b>	<b>11,195,615</b>
売上原価	10,258,750	8,056,704
売上総利益	<b>4,258,609</b>	<b>3,138,911</b>
販売費及び一般管理費	2,968,342	1,926,945
営業利益	<b>1,290,266</b>	<b>1,211,965</b>
営業外収益	141,910	115,542
営業外費用	63,455	88,886
経常利益	<b>1,368,721</b>	<b>1,238,621</b>
特別利益	17,226	1,382
特別損失	—	529
税金等調整前四半期純利益	<b>1,385,948</b>	<b>1,239,473</b>
法人税、住民税及び事業税	614,675	363,744
法人税等調整額	△ 51,927	△ 2,585
非支配株主に帰属する四半期純利益	268	47,133
親会社株主に帰属する四半期純利益	<b>822,931</b>	<b>831,181</b>

### 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,678百万円増加し、20,796百万円となりました。これは、現金及び預金が632百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が726百万円増加したことに加え、投資有価証券が962百万円増加したこと等によるものです。

### 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて1,538百万円増加し、7,144百万円となりました。これは主に短期借入金が938百万円増加したこと等によるものです。

■ 発行可能株式総数 160,000,000株

■ 発行済株式総数 74,573,440株

■ 株主数 27,076名

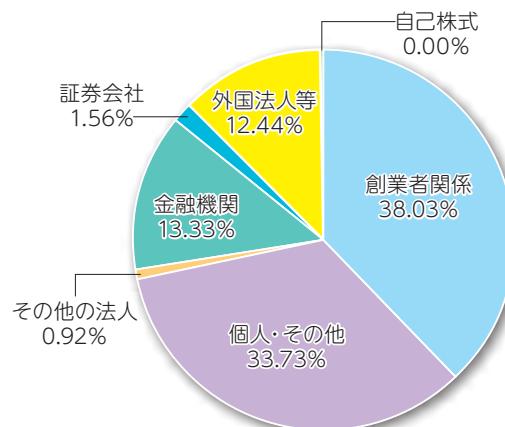
## ■ 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
佐藤 眞吾	16,425	22.03
有限会社佐藤総合企画	11,244	15.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,462	8.67
BNYM TREATY DTT 15	2,575	3.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,902	2.55
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,222	1.64
深井 英樹	880	1.18
佐藤 淑子	688	0.92
立花証券株式会社	578	0.78
BANQUE PICTET AND CIE SA AC 10 PCT DIVIDEND	500	0.67

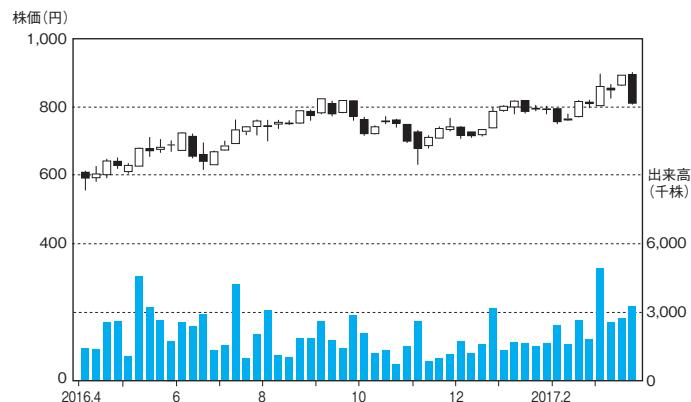
※持株比率は自己株式(86株)を控除して計算しております。

## ■ 株主分布状況

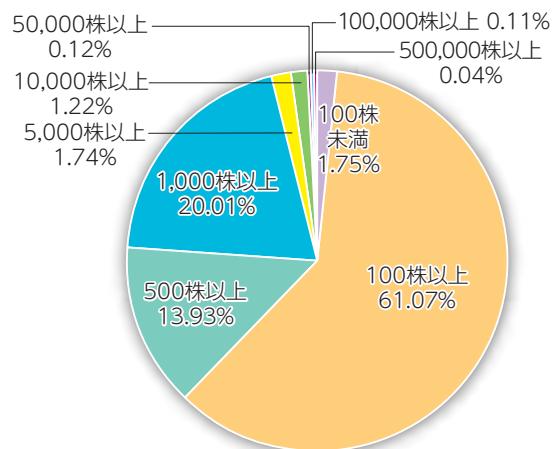
### 所有者別分布状況(株式数比率)



## ■ 株価の推移



### 所有株数別分布状況(株主数比率)



社名	株式会社 夢真ホールディングス	上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)
本社	東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング22F	証券コード	2362
設立	1980年1月	役員	(2017年5月11日現在)
代表者	佐藤 大央	代表取締役会長	佐藤 真 吾
資本金	8億514万円	代表取締役社長	佐藤 大 央
従業員数	連：5,817名、単：4,210名	専務取締役	佐藤 義 清
事業内容	建築技術者派遣事業 エンジニア派遣事業 教育関連事業 IT関連事業 その他事業	取締役	楠 原 正 人
		社外取締役	坂 本 朋 博*
		社外取締役	小 田 美 紀*
		社外監査役	高 橋 宏 文*
		社外監査役	六 川 浩 明*
		監査役	松 本 幸 夫

\*東京証券取引所の定める独立役員

## IR伝言板

### 2017年1月以降のIRスケジュールと今後の予定をお知らせいたします。

2017年1月31日	個人投資家向け会社説明会 (岐阜)
2017年2月24日・25日	東証IRフェスタ2017
2017年3月4日	個人投資家向け会社説明会 (大阪)
2017年3月8日~10日	ジュネーブ・パリIR
2017年3月13日~15日	アメリカ西海岸IR
2017年3月16日・17日	アメリカ東海岸IR
2017年3月15日・16日	マレーシア・シンガポールIR
2017年3月17日	個人投資家向け会社説明会 (札幌) ※子会社 夢テクノロジーの説明会です。
2017年3月25日	個人投資家向け会社説明会 (東京)
2017年3月30日・31日	香港IR
2017年5月16日	2017年9月期 第2四半期 決算説明会
2017年5月25日	個人投資家向け会社説明会 (東京)
2017年6月9日 (予定)	個人投資家向け会社説明会 (名古屋)
2017年6月10日 (予定)	個人投資家向け会社説明会 (長野)
2017年7月8日 (予定)	個人投資家向け会社説明会 (札幌)
2017年9月15日 (予定)	個人投資家向け会社説明会 (広島)

#### 2017年3月15日・16日 マレーシア・シンガポールIR



2017年3月15日 マレーシアIRにて

## ホームページのご紹介



当社ホームページの「株主・投資家情報」では、過去の決算短信などのIR情報を見ることができます。

新卒・中途採用強化の一環として「採用ページ」の充実を常に図っています。

ホームページ  
<http://www.yumeshin.co.jp/>

### 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日
定時株主総会	毎年10月1日から3カ月以内に開催
基準日	定時株主総会：毎年9月30日 期末配当金：毎年9月30日 中間配当金：毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
証券コード	2362

#### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 (通話料無料)	フリーダイヤル 0120-782-031
公告の方法	当社のホームページに掲載します。(http://www.yumeshin.co.jp/)ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。

## 株式会社夢真ホールディングス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング22F



古紙配合率70%再生紙を使用しています

